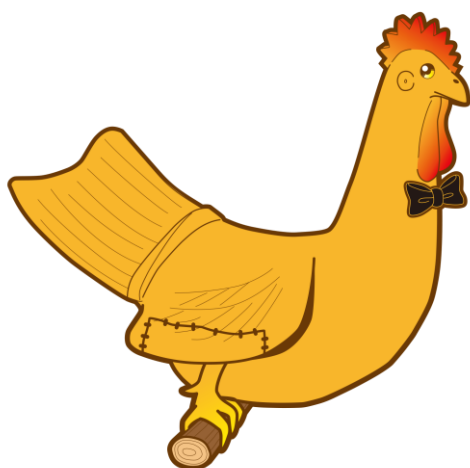


鶏形埴輪の名前募集

「鶏ハニワの私に名前をください」について

教育部文化財保護課赤堀歴史民俗資料館

赤堀茶臼山古墳出土の鶏形埴輪は、令和6年度の文化庁「発掘された日本列島2024」で全国4会場を巡回展示されて注目を集めた、歴史的価値の高い伊勢崎市を代表する埴輪の一つです。この赤堀歴史民俗資料館で展示する鶏形埴輪の歴史的価値と魅力を発信することで、多くの方が伊勢崎への関心を高めていただけることを目的に、鶏形埴輪のキャラクターを作成しました。本事業は、この鶏形埴輪キャラクターの名前を募集します。



名前を募集する鶏形埴輪キャラクター



キャラクターのモデルとなった
赤堀茶臼山古墳出土の鶏形埴輪

1 赤堀茶臼山古墳出土鶏形埴輪について

高さ86.4cmの大型の鶏形埴輪で、全体像がうかがえる鶏形埴輪の中では東日本最古のものです。止まり木をつかむ力強い両脚と雄鶏だけにある蹴爪(けづめ)が立体的に造られ、首や背中、翼の羽まで丁寧に表現されています。特に大きな話題となったのは、赤堀茶臼山古墳から3キロメートル離れた埴輪工房の釜ノ口遺跡(堀下町)から出土した翼部片と接合したことによって、釜ノ口遺跡は赤堀茶臼山古墳の埴輪工房であったことが明らかとなりました。この鶏形埴輪は雄鶏ですが、昭和4年に帝室博物館(現在の東京国立博物館)による赤堀茶臼山古墳発掘調査出土の鶏形埴輪頭部は、雌鶏であることも明らかとなっています。

2 鶏形埴輪キャラクターについて

鶏形埴輪の蹴爪(けづめ)の存在から雄鶏であることに加え、釜ノ口遺跡出土の翼部片が接合した事実や、昭和4年に帝室博物館（現東京国立博物館）の調査で出土した鶏形埴輪頭部が雌鶏であることから、鶏形埴輪キャラクターは下記の設定をしています。

- ・男前の埴輪です。
- ・蝶ネクタイがお気に入りです。
- ・早寝早起きが得意です。
- ・なくしたままだった翼の一部が最近見つかったので、うれしくて体に縫いつけています。
- ・東京国立博物館で暮らすカノジョ（雌鶏）とは遠距離恋愛中です。最後に会ったのは約100年前です。

3 募集内容 赤堀茶臼山古墳出土鶏形埴輪のキャラクターの名前

4 募集期間 令和7年7月1日（火）～8月31日（日）

5 申し込み方法

専用ホームページからお申込みいただき、応募のあった中から審査を行い、発表は10月下旬頃を予定しています。採用された方には10,000円分の図書カードNEXTと鶏形埴輪キャラクターの亚克力キーホルダーを贈呈します。

6 関連事業

夏休み小学生向け事業「資料館をめぐろう土器ドキイズラリー」で、鶏形埴輪キャラクターからクイズを出題する連動した事業として開催します。

期間：令和7年7月19日（土）～8月31日（日）